

南米支部通信

高城 武夫 様

南米支部 神屋 信 一

拜啓（前略）観測所も今年10メートル北へ増築をいたします。二階にも部屋をつくることにして材料だけ買ひました。米の薪付けでもすんだらはじめます。武田君のお母さんが日本から歸つて來ました。まだお會ひませぬ、武田氏一家は全く氣の毒な家です。武田江君には観測用紙を時々あげてゐます。

毎度ながら新聞を御親切に澤山お入れ下さいまして一同感謝いたして居ります。もう皆天文を終生の仕事と決めて居ります。百姓の天文ぢや思つた程の役にもたちますまいけれど、兎に角やるだけはやります。お蔭様でブラジルに天文熱が盛んになりました。この分で行けば相當會員も多くなり観測も数多く出来る様になるとおもひます。私等の方でも所員として少し仕込むつもりで居ります。私が來春歸國いたしましたら御厄介になつて少し教育していただいてと存じてゐます。大窪君と勝浦君とが歸るはずにしてゐましたがどうしても私に先きに歸へる様にといつてききませんから種々要件もありますから歸ることにしました。

臺中、サツボロに出張所が出來たことは結構なことで御座いました、花山の観測網は益々充實して來たわけです。私達も南天の守りとなり得る様努力に努力を重ねることにいたします。大窪、勝浦兩君も堅い決心をして居ります。來年は大窪君もワイフを探さねばならないと存じてゐます。勝浦君はもうしばらく活躍してからといふことになつてゐます。兎も角死ぬまで天文を本業とする様になつてしまひました。一生を愉快に暮すことの出來ますことを感謝してゐます。

宿舎の大破損は先生方の御困りの程と御察いたします。御ケガのなかつた事は何よりでありました。

今日の御通信で機械等を大破のなかつた事を知り安心いたしました。

しかし復興には大骨折のことで御座いませう。

學校の倒壊の多かつたことは残念であります。天皇陛下萬歳を唱へて死んだ小女があつたさうで、感激いたしました。私達海外にあるものを大いに考へさせます。昨夜家族一同に集つて新聞を拜見しながら自分たちもどうか最期の時に天皇陛下の萬歳を唱へ得る様お互に平常心しなければならぬと云ひ合ひました。

皆様の御健康と復興の早やからんことを祈り上げます。

昭和9年11月20日

會員大募集

—(規則書御申越次第進呈)—

編輯だより

★例年にない暖い日が續いて何となく嬉しい、地上の花に先立つて、天上には火星が接近して華やかな星景色。——本號には各種の玉稿が集つて編輯子大いに力を得、力みましたが限られた頁数を分ちあふのに一苦勞でした。

★小山先生の御盡力で好評を續けて來た變光星の講座は本號で愈々終りましたが、何れ「別刷」を御希望の方へ御別ち出来る事でせう。

★池田氏の發論は又「天文用語」の議論が盛り上りそうです。讀者諸氏も大いに御意見を發表してみして下さい。

★水野副會長が例により「邦文天文書一覽」を御書き下さつたので、何時もながら誰方にも欣んで頂けませう。

★來る六月號は恒例により「時」及び「時計」に関する特輯號でも出したい希望です、二月號誌上の投稿規定に従つて四月末日までに投稿を歓迎します。(T. T. 生)